

東海北陸

Branch Report Vol.59

TOUKAI-HOKURIKU

2013. August



名古屋城本丸御殿



公益社団法人
日本建築積算協会・東海北陸支部

支部長あいさつ 「公益社団法人としての出発」 支部長 小野 徹郎	1
平成 25 年度 東海北陸支部 定時総会報告	2・3
平成 24 年度 収支決算書	4
平成 25 年度 事業計画	5・6
平成 25・26 年度 支部役員名簿・支部委員名簿	7・8
新しいスタートを迎えて 総務財務委員会 委員長 川辺 清次	9
会員委員会報告 会員委員会 委員長 碓谷 智彦	9
今回の活動計画 教育委員会 委員長 山田 治	10
設計審査委員会だより 設計審査委員会 委員長 伊藤 健蔵	10
データベース委員会だより データベース委員会 委員長 加藤 一也	11
ホームページ委員会だより ホームページ委員会 委員長 碓谷 将紀	11
PERIKAN にご理解を ペリカン推進委員会 委員長 中川 英人	12
建築コスト管理士・建築積算士試験案内 資格制度委員会 委員長 林 進	12
平成 25 年度の講習会 講習委員会 委員長 藤井 正王	13
愛知県建設技術研修 講習委員会 委員長 藤井 正王	13
新役員紹介 (有)積算連合 池田 素久	14
(有)高島建築積算事務所 高島 義昭	14
大成建設(株)名古屋支店建築部 後藤 学	15
鹿島建設(株)中部支店建築部 平井 隆志	15
(株)二葉積算名古屋支店 中川 英人	16
(株)縁 名古屋事務所 古川 元	16
(株)日建設計 工務部門 山内 久高	17
(株)円建築積算 金岡 文徳	17
女性スタッフ紹介 大成建設(株)名古屋支店 建築部積算室 安田 真由子	18
就業体験 名古屋市立工芸高等学校 建築システム科 2年 安達 直斗	18
建築積算を学んで 愛知県立碧南工業高等学校 建築科 3年 石田 渉	19
この道のあゆみ(会長表彰を受けて) 佐野 洋治	20
北陸部会だより (株)高島建築積算事務所 高島 義昭	21
地域委員会 静岡部会だより (株)アイピーエス 藤曲 充信	21
能登の里山里海 RSアーキー級建築士事務所 四辻 靖信	22・23
平成 25 年度講習会予定表 講習委員会	24
CPD 制度と CPD 単位取得について 資格制度委員会	25
株式会社 大成出版社	26
一般財団法人 建設物価調査会	27
協栄産業株式会社	28
編集後記	29
株式会社 二葉積算 名古屋支社	29
TOMOデータサービス株式会社	30

「公益社団法人としての出発」



日本建築積算協会
東海・北陸支部
支部長 小野 徹郎

椋山女学園大学教授
名古屋工業大学名誉教授

いよいよ本格的な暑さを迎えますが、会員の皆様にはお元気にご活躍のことと思います。今年度、日本積算協会は公益社団法人としての本格的な活動のスタートラインに立ちました。本部は野呂会長、加納専務理事をはじめとした新しい体制での出発になりましたし、支部も8名の新しい役員を迎えて活動を始めています。公益法人としての活動は社会貢献を軸とする必要が有りますが、会員の皆様も新たな意識を持ってこれまで以上にご協力ください。

早いもので門外漢の私が支部長をお引き受けして6年が経過しました。お引き受けした時は、その1年半前に起きた耐震偽装問題が建築界に大きな影響をもたらした時期でした。建築基準法、建築士法の改正におよび、たった一人の建築士が起こした事件が日本の建築界を大きく動かしたのには驚きと幾分釈然としない部分も残りましたが、その中で安全性がコストと無縁でないことがより明確になりました。しかしこのコストに関して、一般的には単に経済原理の側面だけから捉えられており、建築の品質との関連は二の次になっていました。積算が単なる数量拾いとコスト計算に留まるならば、経済原理に基づいて答えを受動的に出すだけです。しかし積算に携わるものは、コストと安全を含む建築に要求される品質との関連に能動的に適切な答えを出さなければ意味がありません。また建築確認の仕組みが変わり、設計変更が困難になる中、設計段階での適正な積算の重要性は益々大きくなりつつあります。

建築物のシステムが複雑になる中、発注者（クライアント）が発注に先立って用意すべき、発注者側の要求性能を纏めた図書（ブリーフ）の重要性が言われています。即ち、発注者の立場に立って、必要性能を保有する建物を価格との関係で発注者に提示する必要があります。従ってこのブリーフ作りには、設計者とは独立したシステムで、コストに関する専門家が関与しなければなりません。英国などでは、これらの仕事は基本的には積算に係わる資格者が行っています。ブリーフ作りこそ積算士が関わる本来の仕事であり、まさに建築の品質との関連で市場原理に伴う資材価格の変動まで含んだ、設計における総合的な仕事だと言えます。こうした設計の川上段階への積算士の関与こそが積算業界の発展につながります。今後、設計段階での適正な積算の重要性は益々大きくなり、プロフェッショナルとしての活躍の場が増えることを期待します。

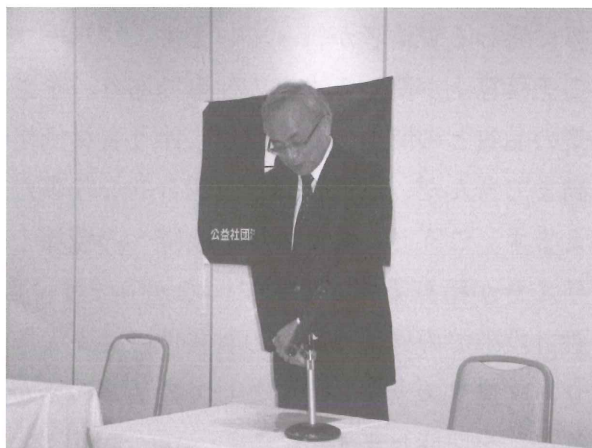
政権交代して新しい方針での経済運営がなされようとしていますが、いかなる経済状況に於いても、物の品質、価値を踏まえたコスト管理は重要です。公益財団法人に移行したことによって、協会も積算という行為を通してより一層社会への貢献が求められています。また英国のRICSとの提携が成立し、相互承認が可能になりました。これまで以上に積算資格の建築生産活動の中での位置づけを明確にし、その認識を持って資格の有用性を社会にアピールしていく必要があります。建築のコスト管理、積算の重要性を社会に認識してもらうと同時に、それにふさわしい資格の相対的評価を高める活動と、自己研修を通して資格者のポテンシャルの向上を目指した活動および教育の場での積算の認識を広める必要があります。こうした活動を軸として新たな役員体制の下、公益法人としての役割を果たすべく積極的に活動を展開していきますので、会員各位の更なるご協力をお願いいたします

平成 25 年度 東海北陸支部 定時総会報告

1. 日 時 平成25年4月24日(水) 17:00～17:45
2. 会 場 ベストウエスタンホテル名古屋 芙蓉の間
名古屋市中区栄406-1
3. 出席者 当日出席者28名 委任状211通 計239名
4. 議事

一、開会の辞～川辺清次副支部長より平成25年度東海北陸支部定時総会の開会の辞。

一、支部長挨拶(要旨)



本日は、平成25年度支部総会にご多忙中にも拘わらずご出席いただきありがとうございます。本日の支部総会は、公益社団法人になってからの初めての支部総会でございます。

さて、東日本大震災から2年が経ち、名古屋も南海トラフを起因とする大地震による被害がいろいろ言われております。また、昨年政権交代のあとに急激な円安になり、輸出産業は喜んでおりますが、一方輸入産業はコスト高により苦しんでいるところがあります。

私たちがこうした経済活動とは無縁ではありません。建物の安全性とコストは表裏一体であり、その建物の性能が正しく評価され、その性能に見合った適正な価格が提示され、その適正な価格が評価される世の中であってほしいと思います。

建築という商品が競争原理のなかで性能確保した上で、合理的な適正価格が提示される必要があります。その提示にかかわる唯一の職業集団は、私たち積算関連技術者であります。これからも私たちは、そうした責務を果たしていかなばなりません。そして積算協会もこれらの事を社会にアピールしていく必要があります。

このあと議案の中で説明がありますが、支部では4つの大きな柱をたて活動してまいります。その活動を通して積算の重要性を世の中にアピールしてまいりますので、会員の皆様のいっそうのご協力とご支援をお願いし、総会に当たってのご挨拶とさせていただきます。

一、来賓ご挨拶

本部より加納専務理事にご出席頂き、ご挨拶を頂戴致しました。

一、定足数の確認(道家事務局長より)

本日出席会員数28名 有効委任状211名 計239名。

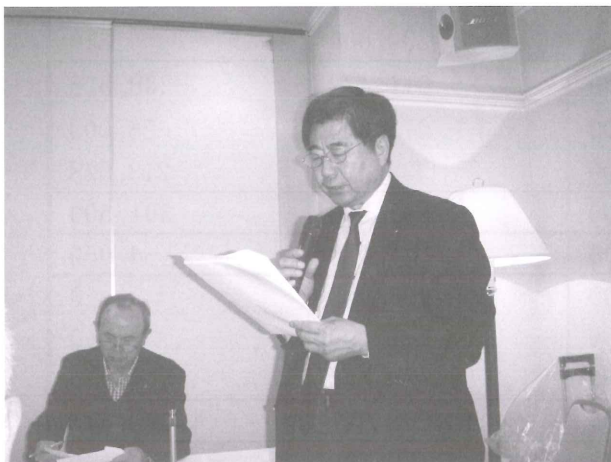
平成25年3月31日現在の正会員数361名。議決に必要な定足数は支部規程第15条第4項の規程により正会員数の過半数、つまり181名以上が成立要件です。従ってこの総会は成立しています、と報告。

一、議案審議

■ **第1号議案** 平成24年度事業報告承認の件

川辺総務財務委員長から平成24年度事業報告の説明があり、審議に入る。
議長からご質問、ご意見のある方の発言を求めた。
特に発言がなく、満場の拍手で第1号議案を承認した。

■ **第2号議案** 平成24年度収支決算(案)及び監査報告承認の件



道家事務局長から平成24年度収支決算報告(案)の説明があり、審議に入る。

会計監事として笠谷正会計監事から収支はいずれも正確である、と報告があった。

議長からご質問、ご意見のある方の発言を求めた。
特に発言がなく、満場の拍手で第2号議案を承認した。

■ **第3号議案** 平成25・26年度支部役員候補者(案)の件

議長からご質問、ご意見のある方の発言を求めた。
特に発言がなく、満場の拍手で第3号議案を承認した。

■ **報告事項1** 平成25年度事業計画に関する件

川辺総務財務委員長から平成25年度事業計画の説明があった。

■ **報告事項2** 平成25年度収支予算に関する件

道家事務局長から平成25年度収支予算(案)の説明があった。

■ **報告事項3** 東海北陸支部規程改訂に関する件

川辺総務財務委員長から公益社団法人移行による東海北陸支部規程の改訂について説明があった。



一、平成25・26年度支部長・副支部長の選任

本日選任された役員(総会出席者)の互選により、支部長に小野徹郎さん、副支部長に碓谷智彦さん、川辺清次さん、藤井正王さん、宮西繁さんを選任した。

一、閉会の辞～

碓谷副支部長より閉会の辞、17時45分閉会。

平成24年度収支決算書

平成24年4月1日～
平成25年3月31日

収入の部

科 目	予算	決算	差異
会費収入	49,000	49,000	0
人材育成及び認定事業	2,860,000	1,730,200	-1,129,800
学校教育	130,000	41,700	-88,300
社会人教育	2,400,000	1,358,500	-1,041,500
認定事業	330,000	330,000	0
調査研究及び情報発信事業	850,000	611,472	-238,528
会誌発行	300,000	275,000	-25,000
書籍出版	550,000	336,472	-213,528
評価評定及び相談事業	1,200,000	1,501,500	301,500
その他	22,000	17,950	-4,050
支部運営金	9,093,000	9,093,000	0
一般運営金収益	8,662,200	8,662,200	0
受取補助金	430,800	430,800	0
当期収入計	14,074,000	13,003,122	-1,070,878
前期繰越収支差額	4,176,133	4,176,133	0
収入合計	18,250,133	17,179,255	-1,070,878

支出の部

科 目	予算	決算	差異
事業費	8,264,500	4,539,787	-3724713
会議費	850,000	690,860	-159140
会場費	806,000	640,865	-165135
旅費交通費	1,030,000	460,780	-569220
印刷費	312,000	311,430	-570
図書費	470,000	311,900	-158,100
外注費	2,944,000	799,470	-2,144,530
諸謝金	1,455,500	842,000	-613,500
その他事業費	397,000	482,482	85,482
管理費	5,809,500	7,079,104	1,269,604
給料手当	0	3,900,000	3,900,000
会議費	205,000	102,260	-102,740
旅費交通費	889,000	756,720	-132,280
通信運搬費	402,000	260,677	-141,323
什器備品費	295,500	89,964	-205,536
賃貸料	1,048,000	1,047,816	-184
外注費	2,040,000		-2,040,000
諸会費	380,000	330,000	-50,000
その他管理費	550,000	591,667	41,667
当期支出計	14,074,000	11,618,891	-2,455,109
当期収支差額	0	1,384,231	1,384,231
当期収支繰越差額	4,176,133	5,560,364	1,384,231

平成25年度事業計画

I. 支部事業活動方針

政権交代して新しい方針での経済運営がなされようとしているが、いかなる経済状況に於いても、物の価値を踏まえたコスト管理は重要である。建築のコスト管理、積算の重要性を社会にアピールし、資格の相対的評価を高める活動と、自己研修を通して資格者のポテンシャルの向上を目指した活動および教育の場での積算の認識を広めることが重要で、この視点に立って支部活動を行う。

- 1) 積算関連資格の社会的認知と実質的な活用についての周辺整備
- 2) 非会員資格者の会員化に重点を置いた会員の増強
- 3) 地域に根ざした会員サービスの向上
- 4) 教育機関での建築積算教育の拡大と若手人材の育成

積算資格の社会的認知を高めることは、積算資格に対する需要を引き起こし、建築積算士等の資格者の増加、積算協会会員の増加につながり、結果的に積算協会の基盤を固めることになる。資格者の活用について行政に積極的に働きかける。CPD登録を中心に電子情報の多角的な運用について会員に広報、支援する。会員相互の意見交換の場を拡大して会員サービスに努める。積算士補資格を基本に教育機関に於ける積算教育の充実と拡大を計る。支部活動及び運営に関し、支部会員各位の理解を得ながら内容の充実を図る。

II. 支部委員会活動

◇総務・財務委員会

- ①協会に新しい魅力を創出し、会勢拡大に努める。
- ②各委員会との調整を図る。
- ③会計処理の整備、予算管理の推進、事務局業務の効率化とコスト削減を図る。

◇会員委員会

- ①会員・賛助会員の増加を図る（ペリカン訪問の推進）。
- ②会員サービスの向上を図る。
情報提供・親睦事業
会員交流会（講習会・研修会・見学会、懇親会）の実施
- ③会員へのメールによる情報発信の試行を図る。

◇広報委員会

- ①会員・賛助会員への情報提供誌として充実した支部報を継続して発行する。
- ②会員交流の場として、会員投稿ページを設ける。
- ③会員以外への広報活動の充実を図る。

◇ホームページ委員会

- ①広く一般の方にも「積算」を知っていただける場を提供する。
・ホームページのわかりやすさ、活用のしやすさを図る。
- ②会員サービスの充実を図る。
・素早い情報公開。

◇講習委員会

- ①各種研修会・講習会を積極的に実施する。
- ②建築積算士更新講習会へ講師を派遣する。
- ③地域部会が実施する積算研修会を支援する。
- ④地方の会社へ講師を派遣する出張講習会を開催する。

◇教育委員会

- ①建築積算士補の認定事業に伴う、大学・高専・工業高校・各種専門学校等において、当協会作成のテキストによる積算教育導入の広報と、講師派遣及び試験を行う。
- ②管内地方公共団体等から研修会の講師の派遣依頼要請に応えるために、講師の派遣を行う。
- ③認定校への情報提供と支援を行う。

◇資格制度委員会

- ①本部が実施する建築積算士試験、建築コスト管理士試験及び建築積算士更新講習事業を支援する。

・建築積算士試験

一次試験(学科)	平成25年10月27日(日)	昭和ビル、富山県民会館
二次試験(実技)	平成26年 1月26日(日)	昭和ビル、富山県総合情報センター

・建築コスト管理士試験

平成25年10月27日(日)	昭和ビル、富山県民会館
----------------	-------------

・建築積算士更新講習会

名古屋会場	平成25年11月16日(土)	昭和ビル
金沢会場	平成25年11月 9日(土)	金沢市近江町交流プラザ

- ②CPD登録の促進と支援を行う。

◇設計審査委員会

設計審査システムの充実と設計審査制度の活用を広めるための活動をする。

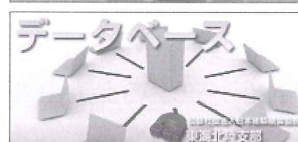
◇データベース委員会

- ①データベースの情報整備及び拡充を図り利用しやすい環境の整備を行う。
- ②積算チェックのノウハウについてさらに充実を図る。
- ③将来解体時建設副産物のデータ化を進める。
- ④コストデータ表の利用促進を図る。
- ⑤物価版に掲載されていない単価表の作成を進める。
- ⑥ホームページ掲載のデータベース資料を広く活用ができるように広報活動を推進する。

◇地域委員会

- ①地域別勉強会を講習委員会と連携して実施する。
- ②新規会員の勧誘を行い、地域部会の活性化を図る。

公益社団法人日本建築積算協会・東海北陸支部



役 職 名	氏 名	勤 務 先
ホームページ副委員長 データベース委員	渡 邊 國 雄	(株)伊藤建築設計事務所
講習委員	池 田 素 久	(有)積算連合
講習委員	鷓 飼 洋 行	(株)青島設計 設計室
データベース委員 教育委員	宇 野 純 也	U. S 設計室
データベース委員	裏 橋 信 夫	清水建設(株)名古屋支店
データベース委員	大 田 耕 二	(株)NTTファシリティーズ東海支店
講習委員	小 栗 裕 重	小栗建築事務所
講習委員	勝 野 徹	(株)フジタ 名古屋支店 積算部
資格制度委員	金 岡 文 徳	(株)円建築積算
講習委員	木 原 陽	(株)竹中工務店 名古屋支店 見積部
広報委員 データベース委員	後 藤 学	大成建設(株)名古屋支店 建築部
北陸部会担当委員	諏 訪 淳	(株)三四五建築研究所 富山事務所
広報委員	高 島 義 昭	(有)高島建築積算事務所
データベース委員	長 谷 川 脩	(株)浦野設計 技術営業部
設計審査委員 教育委員	平 井 隆 志	鹿島建設(株)中部支店 建築部見積G
静岡岡担当委員	藤 曲 充 信	(株)アイピーエス
教員委員 教育委員	古 川 元	(株)緑 名古屋事務所
静岡岡担当委員	三 輪 健 二	木内建設(株) 管理部積算課
教員委員	山 本 喜 久	神野建設(株) 建築事業部
データベース委員	山 内 久 高	(株)日建設計 工務部
支部監事	佐 野 洋 治	SANコスト企画
支部監事	三 原 田 辰 男	(株)清水建設 北陸支店 見積部

平成 25・26 年度支部委員名簿

平成25年6月21日現在

役 職 名	氏 名	勤 務 先
設計審査委員会副委員長 講習委員会委員	西 部 明 宏	(株)二葉積算 名古屋支社
広報委員会副委員長	長 山 充 裕	(株)アイピーエス 積算部
広報委員会委員	桑 名 利 男	
広報委員会委員	松 本 利 治	(株)円建築積算
ホームページ委員会委員	小 中 利 文	(有)積算連合
ホームページ委員会委員	西 村 洋 司	(株)アイピーエス 積算部
ホームページ委員会委員	知 野 見 武	
データベース委員会委員	石 脇 誠	(株)アイピーエス 積算部
教育委員会委員	桑 田 隆 行	愛知県立碧南工業高等学校建築科
講習委員会委員	奥 山 寛	(株)千田工業 名古屋支店
資格制度委員会委員	位 田 勝 彦	(株)中野積算 名古屋支社
資格制度担当委員 (静岡岡担当委員)	吉 開 慎 也	(株)アイピーエス 積算部

新しいスタートを迎えて

総務財務委員会

委員長 川辺 清次

ここ2、3年の懸案事項であった、公益か一般かも昨年決着し、今年度は会長、専務理事も一新して新体制がスタートした。財政危機回避、会員減少の歯止め等、昨年からの課題が引き続き山積されている。本部へ総務財務委員会に出席するからには、物申す東海北陸支部でありたいと思う。

本部総会において、事務局員の定年に伴う人員の補充もせず、人件費を押えている様であるが、高給取りの人件費こそが問題ではないか。等々、疑問に思える事は、チェック機能を果していきたい。

支部においては、公益化により支部規程等が全国統一化等問題もあるが、出来る限り融通性を生かし活動し易くする様にしたい。又、財政的には今年度も今迄通り経費節減に努める。事務所家賃も他支部に較べて安価であるし、最後の砦である。交通費、謝金までいかない様、頑張ろう。財政問題と表裏一体である会員増強、ペリカン作戦の継続、会員交流会の見直し、更新講習会におけるPR。ホームページの充実等、今迄以上に会員の皆様の協力の元、頑張らしましょう。

東海北陸支部では、新役員、新委員会メンバーも決まり支部役員会ではいつも活発な意見交換があり、風通しの良い雰囲気作りに努めます。会員へのタイムリーな情報発信をし、情報の共有化を図り、一体感を感じる支部でありたいと願っています。どうか会員の皆様、疑問、質問、何なりとお寄せ下さい。ともに居心地の良い支部にしましょう。何卒ご協力の程、お願い申し上げます。

会員委員会報告

会員委員会

委員長 剛谷 智彦

昭和55年の東海北陸支部設立時から三十数年が経ち、設立時のメンバーで残っているのは私一人となりました。

昨年度限りで引退の決意をしていましたが、諸事情で思いが叶わず、最後の一期を会員委員長として頑張っていますので、皆様のご協力をお願い致します。

会員委員会とは?読んで字の如し会員の為の委員会であるべきですが、会員ではない方の委員会でもあります。

当協会だけでなく、協会活動の基本は会員数、となれば即「会員増強」と言うことになります。

公益社団法人となり、公益事業の必要性が求められることとなります。現在の会員は建築関連従事者が大半ですが、これからは一般人を対象にした協会PR(但し会員増強には繋がらない)と実際に行動を起こす事が今後の会員委員会の役目と思っています。

年度が変わってまだ日も浅く、委員会活動もできていませんが、与えられたこの2年間で会員増強以外に次の計画を遂行できるよう努力します。

①協会専属講師の養成

会員の内から、豊富な実務経験を持った方に得意分野の講師を依頼する。

②賛助会員の増強

賛助会員に会社PR及び専門業種として講習会の開催、講師等を依頼し、賛助会員に納得してもらえる賛助会員勧誘をする。

③木造住宅耐震診断の相談窓口開設

数年前に「建築総合展」で行った、一般の人を対象にした木造住宅耐震診断及び見積書の無料査定を復活する。

今年の活動計画

教育委員会

委員長 山田 治

積算協会のテキストもデザインを一掃し、積算士補(学校教育)の『建築積算はPCM.Ⅲ』となり、コスト管理士・建築積算士と同列のシリーズ本となりました。

東海北陸支部の学校教育もスタートより早5年目を迎えます。協会の派遣講師にも限りがあるので、新規の学校は学校内部で積算の講義ができる講師が在席される事を前提として、PR活動をしてきました。当初4校が現在も8校と他支部ほど増加の勢いはありません。しかし合格者の登録累計は286名と、資格を取得して就職活動に臨み、有利に活動したいという意思がはっきりと見て取れます。

問題は更新講習でどれだけの方が更新しているのかです。本部委員会で現状の更新状況と協会のフォローのあり方を議論し、今後の支部活動に展開しようと考えております。(9月25日が本部教育委員会の予定です)

もうひとつの活動は、本年度から『ここが知りたい勉強会』を再開しました。現在通期受講は9社ですが、従来通り興味のある勉強会のみスポット参加も可能です。ホームページをご覧になればわかりますが12回/年です。時々市内近郊の作業所見学も実施します。その時感じた疑問を皆で討論し、少しでも若手の積算技術者の疑問に答え積算技術のレベルアップにつながれば良いと考えています。

勉強会のテーマは全て決定していません。これは公益性を考えこんな事をして欲しいと会員及び一般の方からの依頼に答え易くするために、あえて早期に決めていません。この支部報及びホームページをご覧になって、是非自分も参加したいと思われましたら、どうぞ早めに協会へ希望・要望を投げかけてください。

皆様が気楽に参加できる勉強会にしてゆきたいと思っておりますのでどうぞ協力ください。

設計審査委員会だより

設計審査委員会

委員長 伊藤 健蔵

今期より、設計審査委員長を拝命致しました。微力ながら東海北陸支部発展のため責務を全うしたいと思います。

今まで設計審査委員として、多くの設計書に携わりましたがそれが適正か不適正かの判断は非常に難しくコストとプライスの考え方や市場価格の動向など多くのデータも必要となります。

そのためには委員会のみならず、協会のみならずにもお力添えを頂きたいと思っております。

平成13年度より、岐阜県の社会福祉施設(特養等)の設計書の審査から端を発し、10年以上の実績と信用を積み上げてきました。これもひとえに西田前委員長をはじめ当初委員をされた諸先輩方の努力のたまものでもあります。

設計審査の流れは、おもに岐阜県下における社会福祉施設の設計書の金額及び数量が妥当かどうかの審査依頼が中心になっています。

その物件に対して参加登録されている事務所(おもに積算事務所)に公示し参加希望者の中から抽選にて審査事務所を決定します。ここでは数量を中心に審査し、設計図書と数量調書との不整合や疑問点を文書にて質疑応答します。

建築積算士の承認印のある設計書を審査することになりますので、審査する側もかなり気を引き締めて取り組まれているように思われます。

最後に設計審査委員により、コストを中心に審査を行い結果報告書にて依頼主に報告します。

日本建築積算協会では、こういった第三者評定事業にも力を入れており、岐阜県下のみならず官公庁・民間を問わず幅広く皆さんからの積算及びコストに関するお問い合わせを受け付けております。当協会が5月末に発表した緊急提言「適正価格での発注と受注を支えるコストマネジメントの重要性」にあるように、こういった活動が予算と設計内容を整合させ適正価格で発注するための一助になればと考えます。

データベース委員長に就任して

データベース委員会
委員長 加藤 一也

昨年まではデータベース委員の一委員でしたが、今年4月より新委員長に就任した加藤です。

本年は、東日本大震災から2年が経過したにもかかわらず復興が進まぬまま政権が交代し、日本が大きく変わる年になるのではと感じています。

まずは、復興支援等に伴いインフラ整備が進み、経済事情が変わり資材不足による価格の変動、労務者不足に伴い労務費の修正、基準価格の見直しがなされ、新工法、新技術が採用され環境に則した提案がされるであろうと思います。

講習委員会の『ここが知りたい積算勉強会』等の最新の情報を入手して、会員の方々に少しでもお役にたてる資料が御提供出来ればと考えていますが、私は岐阜の出身で、体を動かす事が好きで年間を通じて4回程度(新春マラソン、各務原マラソン、高橋尚子杯清流マラソン、市民マラソン他)参加しております。体力には自信が有りますが、使えるデータベースの構築に向けて前任の委員長、メンバー、新メンバーと力を合わせて皆様の要望に応えられるようにしたいと思っていますので、ご意見ご要望をよろしくお願いたします

ホームページ委員会だより

ホームページ委員会
委員長 劔谷 将紀

待って頂いていたなら大変嬉しいのですが、大変長らくお待たせいたしました。新しいホームページが出来上がり、いよいよ皆様にオープンできる運びとなりました。

今回ホームページを一新した目的の一つとして、皆様に見やすいページをご提供致したく、今までとは違ったホームページの作成方法を行なっています。今までも統一性のあるページ表現を目指して作ってきたのですが、数名の委員が分担して更新作業を繰り返すうちに、少しずつ違いが出てきて回数を重ねるごとにその違いが明白になってきてしまい、見て頂いている方に違和感を覚えるほどとなってしまいました。きっと一人の人間が作業していても、ページ毎のズレなどが出てきてしまうと思います。そこで今回のホームページは、誰が更新作業しても決まったテーマやフォントの中で修正することができ、パソコンを使わなくてもスマートフォンなどから更新作業もできます。(まだやったことはありませんが)それにより今まで以上に見やすいページを提供できるようになり、それがいつまでも変わらないままで見て頂けます。実際にホームページを見て頂いている方は、「そんな事、気にしていなかった」なんて思われていて、作っている私たちが一番気にしていたのかもしれませんが、しかし、作る以上はよりよい物を提供したいと思っていますので、自己満足なのかもしれませんが、今後もドンドン進化をさせて、皆様の役にたつホームページ作りをしていきたいと思っています。

<http://www.bsij-tokaihokuriku.com>

新ホームページ 会員サービスのパスワード
パスワード：member (半角)

* ID番号はなくなりました

完走証

あなたは、東日本大震災復興支援
第67回国民体育大会 デモンスト
レーションとしてのスポーツ行事
「10km・5kmマラソン」にお
いで、完走をされましたのこれを
証します

種目 5km
時間 28分32秒
平成24年9月30日
公益財団法人・公益財団法人岐阜県大会都市実行委員会
会長 細江 茂光

10km・5kmマラソン
2012.9.30

PERIKANにご理解を

ペリカン推進委員会

委員長 中川 英人

この春、初めてペリカン推進委員会の委員としての活動をさせて頂くことになりましたが、何をどのように進めていくのか皆目わからず、「建築と積算」の過去の記事を追って行きました。さかのぼること2年、2011年の夏、秋の「建築と積算」にそのペリカン推進活動を行うにいたる経緯、意義が書かれてありました。関心のある方はまた読んでおいて頂きたいのですが、要するに当協会のブランド化を図り、協会の認定事業であるコスト管理士、積算士の価値を相対的に高めることで、協会員の増強と資格者の拡大につなげるところが目的です。

ブランドとは象徴価値といわれものですが、簡単にいえば、積算協会の存在、また協会が付与する積算士、コスト管理士の認定資格を所有する者が何か価値のある、いいことをやってくれる。そして、その「よさ」に気づいた人、発注者が「自分にはその価値がわかった」ことを誇りに思って世に告知されていく、それがブランド力の条件だと思います。

東海北陸支部が行う設計審査も当てはまりますし、積算協会が「適正である」と評価し、協会あるいは積算士・コスト管理士の印鑑のない積算書類（工事見積書）でなければ契約しない、といった発注者が存在することもその一つです。協会や資格者の認めるものが権威であり、そのように思って役立てて下さる発注者が数多く現れてくることがブランド化ではないでしょうか。

また建築関連企業の中で積算士、コスト管理士の資格を持つ技術者がコスト管理業務に当たり、多くの人を有益にすることが出来る、そんな資格を取得したいと思う人が続々と現れる、そんな希望をもちつつ推進活動に取り組みたいと思います。

建築コスト管理士・建築積算士試験案内

資格制度委員会

委員長 林 進

本年度の建築コスト管理士試験・建築積算士試験及び建築積算士更新講習会のご案内をいたします。

建築コスト管理士試験

試験日 平成25年10月27日（日）

試験地 名古屋会場 昭和ビル
富山会場 富山県民会館

建築積算士一次試験

試験日 平成25年10月27日（日）

試験地 名古屋会場 昭和ビル
富山会場 富山県民会館

建築積算士二次試験

試験日 平成26年1月26日（日）

試験地 名古屋会場 昭和ビル
富山会場 富山県総合情報センター

建築積算士更新講習会

名古屋会場

開催日 平成25年11月16日（土）

講習会場 昭和ビル

金沢会場

開催日 平成25年11月9日（土）

講習会場 金沢市近江町交流プラザ

更新講習は会場受講とeラーニング受講があります。遠隔地または開催当日都合により参加できない方、忙しくて講習会場に足を運べない方は、ご都合にあわせて受講できるeラーニングが便利です。また、当初、会場受講をご希望された方でご都合が悪くなりeラーニング受講への変更を希望される方も随時受付ますので、その際には事務局にご連絡の上、ご変更手続きをしてください。

平成25年度の講習会

講習委員会

委員長 藤井 正王

平成25年度からの講習会はもう既に終了している講習会もあり、4月18日に開催された建築積算入門の講習会、これは主に新入社員教育のお手伝いとして、学校教育用テキストにより、基本的な積算の知識を中心とした講習会です。

5月8日及び14日には建築積算士ガイドブックの講習会が開催されました。この講習会は建築積算入門の講習会の上位にあたり、より細かく具体的な知識を覚えて頂く講習会です。

6月5日には建築数量積算基準の講習会が開催されました。平成23年度版に発刊に伴い、改めて積算数量基準の目的と具体的な考え方を知って頂きました。

本年度から新に追加された建築改修工事の積算講習会が6月5日、7月10日、8月7日と三日間で行われました。いままでの改修テキストの見直し作業を2年間行い再発行されました。この講習会は全国統一で行われますが、東海北陸支部が最初に行われます。現在積算としての改修テキストは少ないですが、このテキストは実例も掲載されておりより具体的に理解できると思います。

その後は鉄骨工事ガイドブックの講習会を予定しています。鉄骨工事もやはり積算としてのテキストは少なく、このテキストは積算技術者のためでもありますが、設計事務所や建設会社の設計担当者により分かりやすく、鉄骨の基本から積算事例まで掲載されております。

その他建築積算士試験及び建築コスト管理士に対応した講習会や実技講習会も予定しています。そして添削講座も昨年度から随時受け付けております。実技をおぼえるには、やはり自分の手で計算することが肝心です。長期間になりますが、是非参加して頂きたいと思います。

愛知県建設技術研修

講習委員会

委員長 藤井 正王

平成25年6月27日に名古屋市内にある、愛知県自治研修所（通称アイリス愛知）で愛知県・名古屋市及び愛知県内の地方自治体の建築担当者が46名集まり、公共工事の設計・監理の研修が行われ、その中に建築積算の研修が組み込まれています。1時間半の短い時間でどのような話しをしたら良いか悩みましたが、初任者の研修会と聞き、建築積算の重要な基本的な事項と積算事務所の現状を話そうと思いました。

愛知県	15	碧南市	1	東海市	1
名古屋市	5	安城市	2	知多市	2
豊橋市	2	西尾市	1	知立市	1
岡崎市	1	犬山市	2	尾張旭市	1
瀬戸市	1	小牧市	1	豊明市	1
春日井市	2	稲沢市	2	弥富市	1
豊川市	1	新城市	1	みよし市	2

まずは、建築積算協会の現状と資格試験等のPRをしました。そして建築積算とは、契約の中で総価請負契約、建築数量積算基準の目的と概要を話し、最後は公共工事における積算事務所の現状と問題点でした。

役所からの設計業務の中には積算が含まれて発注されます。愛知県内の積算事務所の中で公共工事を中心としている事務所が少ないため、発注が増えると集中します。さらに設計工期が年末・年度末となりかなり集中します。さらに積算は完了検査時点（途中図面）での積算、次にほぼ完成した時点での積算、その後チェック及び変更対応の積算と時には3回の積算を強いられます。

やはり設計と積算が同時進行は不可能であり、積算業務と設計業務の分離発注が重要である事を訴えてまいりました。

新 役 員 紹 介

大成建設(株) 名古屋支店建築部
後藤 学

本年より、支部役員となりました後藤です。

まずは、自己紹介をさせていただきます。昭和36年6月14日岐阜県関市で生まれました。

小・中・高と地元公立学校、大学は日本大学理工学部建築学科に進学しました。

大学4年生の時には耐震工学を専攻し、建物の地震波による振動解析を研究し、卒論といたしました。そして、昭和59年4月、大成建設株式会社に入社し、東京、名古屋支店での15年間の現場マンを経て現状に至っております。

私自身、父親が型枠大工の職人であった事もあり、小さいころから建築には慣れ親しみ、ものづくりの楽しさを知りました。そのせいもあり、自然な感覚でこの業界で働く事を選びました。物が出来上がった時の喜び、特に「形として残る」事に対しては格別な魅力を感じております。

現在は、建設の最前線からは離れ、積算という役割になり12年が経ちましたが、日々頑張っております。

この度、支部役員を命ぜられ、とても光栄に感じております。その反面、私に役割が十分務められるか、困惑しているのが実際の気持ちです。

まずは積極的に協会の活動に参加し、現役員の方々、そして先輩方からもご指導を頂き、微力ではありますが、精一杯頑張ろうと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

鹿島建設(株) 中部支店建築部
平井 隆志

本年度から、教育委員と設計審査委員を務めさせていただく事になりました。

私は、平成元年にゼネコンに入社し、7年間現場監督を経験したのちに、7年間当時の見積課にて主に業務のOA化を進めました。その後、再度現場を2年経験し見積グループへ配属となり現在に至っております。

支部役員会では自分が若かりし約20年前にJV現場にてお世話になった方が、役員として活躍されており、先日の支部定時総会の懇親会にて関係建築団体代表の方に、学生時代の恩師とあこがれの先輩が出席されており、久しぶりにお会いできました。案外、この業界は狭い世界かもしれないと実感しました。

日々の仕事は、時間的な余裕を得るためにOAを活用しても、積算見積期間が短縮されてしまい一向に余裕ができません。数少ない若手社員への積算見積技術の伝達が課題と考えております。

中部地区では、名古屋駅周辺の大型プロジェクトによる労務のひっ迫と資材の高騰が予見されます。また新政権による経済誘導政策もあり、最近では常に価格が動いております。先を見通した実効に耐えうる数量と単価により無理なく予算化できるように、コスト管理士がますます重要となることでしょう。

積算協会に微力ながら、お手伝いさせていただきたいと思います。

新 役 員 紹 介

協会の役割を再確認して臨む

(株)二葉積算名古屋支社
中川 英人

この度、支部役員の一員に加えて頂き、改めて積算協会の発展に寄与できるよう努力致したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

積算という業務に携わること三十四年、経済高度成長期からバブル経済を経験しそして崩壊、リーマンショック、アベノミクスと、この国の経済動向と建設生産関連のかかわりを常に肌で感じつつ、建設コスト業務に身を置いてまいりました。その間には積算協会の事業であるコストスクール第2期生として一年間勉強させて頂き、コストマネジメントの重要性、つまり建設という大きな経済行為は常に費用対効果の価値判断を判定する尺度が必要となるため、官民間問わずコスト業務が発注者において如何に重要な位置付けになっているかを思い知ることになり、かつ自分の職業としても誇りの持てるものとなったことを今も覚えています。

しかしそれから十年以上経過した現在において、積算という業務が職能としてどんな位置付けにあるのか、今後どのように発展させていくのか、それを考えるとまだまだ啓蒙活動や発信力を問われるところだと思えます。

折しも当協会の尽力によりRICSとの提携協力覚書が締結出来たことは大変喜ばしいことと思えますが、国内で発揮できるフィールドがまだまだ成熟していません。

発注者、クライアントがひとつの事業に何億、何十億の投資を行うとき、建設コストに関して適正数量、適正価格での発注が安心して出来るよう、また着工後に発生する設計変更や工事遅延などのリスク費用までを管理する、いわゆるコスト業務の重要性、必要性を訴え認識してもらうための活動が積算協会の課題であり、資格を付与された会員資格者は日々、技術の研鑽にまい進することが大切と胆に銘じたいと思えます。

見た目より若いです。

(株)縁 名古屋事務所
古川 元

この度、社名でもある「縁」があり（強烈的な後押し？）本年度より東海北陸支部支部役員にならせていただきました古川です。

委員もやらせて頂いた事も無い若輩者がいきなり支部役員なんて・・・。と言う気持ちです。

今まで協会の存在は知ってはいたもののこんなにたくさんの方々が関わって運営されていた事も知らずに過ごして来ました。私自身は平成11年に積算士の資格は取得していましたが、協会の会員にもなっていない・・・ある方から「役員になるなら協会の正会員になっていないとダメだぞ。」と言われ今年やっと正会員になったばかりです。

こんな私ですが選ばれたからには自分が出来る事は精一杯やっ行ってこうと思っていますので宜しくお願いします。

最後に少しだけ自己紹介します。

私は三重県出身の現在42歳です。

三重県立四日市工業高等学校を卒業して平成元年に(株)鴻池組に入社しました。そこで約17年半勤めさせて頂き（積算課に16年程）、平成18年10月に現在勤めている(株)縁に入社しました。

・・・大体この場所は皆さん写真を掲載されると思いますが、私は写真NGなのでご了承願います。（「見た目より若いです」のタイトルなのに写真無しですみません。）

こんな私に興味のある方は協会教育委員会主催の「ここが知りたい積算勉強会」でお会いしましょう。

新 役 員 紹 介

コストはコラボレーション



(株)日建設計 工務部門
山内 久高

この度、新たに役員、データベース委員会で委員を任じられ、この場をお借りして自己紹介といたします。所属は設計事務所で一筋に励んできました。

意匠、構造、監理、また建物の用途では工場、事務所、商業、ホテル、研修所、空港施設などの様々な建物の設計監理を経験し現在、工務（工事費、工事契約に関わる業務）で工事コストに関する業務を行っています。

設計者はコスト意識を持って、積算を含めたコストマネジメントには事業者、設計者の意図をくみ取り、たがいに理解したうえで協働すべきです。積算協会でどのような取り組みをされているのかまだまだ理解できているわけでもありませんが、ホームページで一端を拝見してみると、多方面にわたる研修や環境とコストに関するデータを公開するなどの取り組みは事業者、設計者、社会とのたがいの理解を深め更なるコラボレーションに向けた行動ではないかと思えます。

近年では工事費を検討するうえで、環境、BCP、ITなどの最新技術情報は不可欠となります。そこで、もう一つの視点としての話をしておきたいと思えます。

環境先進国、オーストリアはウィーンの森、チロル地方の大自然に代表されるように自然を大事にする国で特にウィーンでは樹木を大切にするとのことでした。「車にぶつけても木にはぶつけない」と言われるほどで車の修理費より木を痛めるとコストがかかるようです。日本よりはるかに自然を大事にする環境先進国であり、工事費は環境価値で決め、何を大切にすべきか実感します。

日本の環境技術は世界の最先端レベルだとよく聞きますが、精神面ではもっと学ぶべきかと思わせられるところです。

最後に、積算に関する業務の自立には、コラボレーションが重要であり、コストに関する業務を何よりも楽しい仕事としたいとの思いです。

役員になりました

(株)円建築積算

金岡 文徳

今年度から東海北陸支部の役員を務めさせていただきます。2001年9月から積算に携わるようになりました。地味な仕事と言われる事もありますが、自分には向いていると思い、気が付いたら12年も経過していました。東海北陸支部には資格制度委員会として永らく籍を置かせて頂いております。資格制度委員会では、建築積算士とコスト管理士の資格試験、建築積算士の更新講習の運営をしています。この12年で積算協会は新資格である建築コスト管理士の新設、建築積算士更新講習のeラーニングの導入といった大きな変革がありました。なにかを変えていくということは大きなエネルギーと人の力が必要になるのだなと感じていました。これからは資格制度委員会の活動だけではなく、役員として東海北陸支部に微力ながらもより一層貢献できるように努力させていただきます。

また、役員の顔ぶれの中では年齢的に若いグループに属していると思われまます。圧倒されないようにがんばりたいと思えます。



女性スタッフ紹介

積算との出会い

大成建設(株)名古屋支店 建築部積算室

安田 真由子



私が「積算」という仕事を知ったのは就職活動中です。大学では積算の講義はほとんどなく意匠設計を中心に学習してきた私にとって未知の世界でした。

そんな私と積算との出会いは当時リクレーターをしてくださっていた方からの「積算という業種もあるよ」という一言でした。

一生の仕事として自分には何が合っているのか悩んでいた時に積算という道を知り、積算の業務の概要を教えてもらい、「これは一生の仕事にできるかもしれない!」と思ったのです。

もちろんその時には正確にどんな仕事なのかよくわかっていませんでした。しかし実際に仕事を始め、積算の面白さ、大変さ、難しさを体験して、積算の道に進んでよかったと思っています。

私は普段、値入業務を主にしています。コストに関わる業務は1つ間違えれば会社の利益にも影響してしまうこともあり、毎日が緊張の連続で、大変の一言に付きます。

しかし建築が好きでこの世界に入ったので一つとして同じものがない図面をたくさん見ることができるのは楽しみの一つです。

積算は「縁の下の力持ち」の仕事だと思います。目立つことはないし、積算をしたからといって建物が必ず建つとは限りません。報われないこともあります。しかし、建物を建てるためには積算をすることが必要です。

そんな重要な仕事をさせて頂けているということに誇りを持ち、積算が一生の仕事となるよう日々努力を続けていきたいと思っています。

就業体験

名古屋市立工芸高等学校

建築システム科 2年

安達 直斗



私は、学校の授業の一環、就業体験として、株式会社剛谷建築積算事務所というところに行かせて頂きました。

2年生の始めの方で少し積算をやったことがあり、もっと詳しく知りたいと思っていたので、就業体験先が積算事務所と聞いた時は嬉しかったです。

就業体験初日は、積算の本を読んだり、話を聞いたりして積算とはどんな仕事なのか等を知ることができました。その後実際に、拾いと言うものをやってみました。最初は何をしたらいいのか分からなかったけど、担当の方が優しく丁寧に教えてくださり、できるようになりました。

2日目は、初日にやった拾いを1人でやってみました。最初のうちは思い出しながらやっていたけど、段々と慣れてきて早くできるようになりました。後からパソコンに打ち込んだ結果を見たら、1部屋だけ打ち込むのを忘れていて、まだまだ未熟だなと思いました。

最終日は、外部仕上げや躯体等についてを詳しく教えて頂きました。

会社の人達は、優しく明るい人達ばかりで、とても楽しい就業体験ができました。

私は、この3日間勉強したことを、将来に生かしたいと思っています。

お忙しい中、暖かい指導をありがとうございました。

工業高校で建築積算を学んで

愛知県立碧南工業
高等学校
建築科 3年
石田 渉



私の祖父は大工で、幼い頃からその働く姿を見てきました。それがいつしか憧れとなり、祖父のようなしっかりとした

技術を持つ、一人前の大工になることが夢となりました。そしてその夢を実現するために、愛知県立碧南工業高校の建築科に入学しました。

本校の建築科には、施工、構造、計画、設計、法規、製図、実習、課題研究などの専門教科があります。

この内課題研究は、いくつかのテーマの中から自分の意志で一つのテーマを選び、一年を通してその課題に取り組みます。私は自分の将来のことを考えて「小屋組の製作」という課題を選びました。木材の墨付けから始め、加工した木材を組み立てて完成させ、その後解体するという、実際の木造住宅の作業工程と同じようなことを行っています。講師は本校の卒業生で、地元の大工の棟梁が毎週来てくださるので、プロの技術を学ぶことができます。

施工の授業は、二年生で2単位、三年生で2単位（1単位とは週一回、50分授業のこと）あります。積算士補の資格取得の勉強は、二年生の施工の授業で行いました。担当の先生の話では就職試験のための履歴書に、この資格が書けるようにするために、あえて2年生で実施したとのことでした。

一年生の時は構造と製図、実習しか建築の専門科目がないので、いきなり積算は無理があるので、施工に関する基本的なことを学んでから、積算へと移行して行きました。

積算は、積算の概要などの基本的な知識から始

め、土工・地業・躯体・仕上げの数量の計測・計算の仕方を、建築数量積算基準に沿って学びました。さらにそれを十分理解するために、具体的な計算問題を解きました。

二学期の後半から、積算士補のテキストを使って、資格試験用の勉強をしました。テキストの重要な所にアンダーラインを引き、その説明を先生から聞いた後、問題を行いました。また、試験の前には何度も模擬問題を解いたことを覚えています。そしてそのかいあって無事合格することができました。

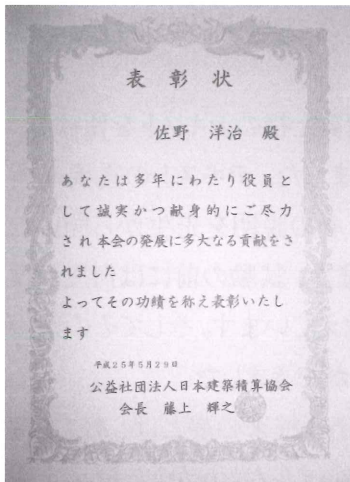
始めはこの資格は自分の将来の夢とは、あまり関係はないものだと思っていました。しかし、授業を受けている内に、積算は木造住宅に関係する部分がたくさんあることに気付き、将来のために必要な知識として学ぼうと思うようになりました。

例えば木材の数量の計測・計算が間違っていて、発注した木材が多かった場合は、無駄が発生して余分な出費となってしまいます。また逆に発注した木材が少なかった場合は、再度発注をしなければならなくなり工期が伸びてしまいます。そのことを考えると、数量の算出を正確に行うことがいかに大事であるかが分かりました。

今回、積算士補の資格をとることができましたが、積算士や建築士などの資格は、実際に木造住宅を建てる大工には、直接関係しないように思えます。しかし今は、将来の大工のあり方がどのように変わるかわからないので、建築関係の資格は少しでも多く取得したいと考えています。また、努力して得たものは決して無駄にはならないと思うので、これから先も上位の資格取得に向けて、積極的に学んでいきたいと思っています。

私の目指している大工は、今ではかなり少なくなってきた、昔ながらの「刻み」から行う大工です。その技術を取得するため、見習いからしっかりと学びたいと思っています。そして、自分が建てる一軒一軒に全力を注ぎ、お客様の理想の家を建て建てられるような一人前の大工になり、木造住宅の良さを広めていきたいと思っています。

この道のあゆみ (会長表彰を受けて)



佐野 洋治

この度、会長表彰を
していただきありがとう
ございました。

協会活動を支えてくださる皆さんに私も支えられ、
役員活動を続けてきたものと思います。

私の積算・見積への関わりは、作業所における躯体
のコンクリート積算がスタートでした。

(株)竹中工務店に入社1年生の時、御堂筋のど真ん
中の地下3階地上11階建ての事務所ビルで、潜函工
法の地下2階分のコンクリート打設が完了し、地上鉄
骨建て方完了直前の作業所に配属となりました。

先輩2名に指導を受け、着任後3度目のコンクリー
ト打ちから、打設コンクリート量の積算をし、発注・
確認・最終量の連絡・打設終了の一連の作業を任せ
られた時からでした。

コンクリート打設は、深夜0時から始まり、日の出
の6時ごろ終了し前面道路を通勤される人波が少な
い時間帯に終えるものでした。

次に、型枠の積算は、名古屋に配属された2件目の
ゴルフ場クラブハウスで、当時、大工は手間請けで、
時代はオイルショックのさなかでいかに合板を確保
するかが難しい時に、加えて台風災害復旧の作業所
で、型枠の付いたまま、基礎が埋まってしまい、再開
用の材料支給をするための積算が必要だった時で
した。

さらに、鉄筋の積算は、同じ作業所で、浄化槽の
発注を見直し、分離発注にするか1式発注のままで行
くのかのコスト比較のときでした。

正式な積算基準(当時は社内基準)は、社内研
修会で概要を学び、正式に見積部に配属されたとき
に、イロハを学びました。

当時は、大型計算機用の社内躯体一貫システムが
開発され、名古屋支店では普及用に1名が本店で研
修を行い、支店で指導する中で、大型の基準階のあ
る繰り返しの多いプロジェクトが対象でした。

通常の積算作業は、手積算で積算担当の計算は
ソロバンであり、積算書・集計表の計算担当はB4版
程度の大きさの卓上計算機を使用し、積算・見積担
当50名に対し、計算担当は12名を数えました。当然
の事ながら見積書は手書き・手計算・湿式コピーで
す。

手積算では、統計値を利用したり、計算途上の数
値を活用したりして、積算時間短縮に挑戦し続けま
した。又、電算機活用率を、年々倍々に高め、現状の
社内計算機利用体制を確立できました。

その結果、レベルアップの社内システム開発にたず
さわり躯体積算の効率化・低コスト化への貢献がで
きました。

積算協会へのかかわりの最初は、第2回目の建築
積算士試験の受験でした、これより建築積算士を取
得し、同時に協会会員として仲間に入れていただくこ
とになりました。

次に、第3回の全国大会に出席したことです。

役員になった次第は、会社の先輩が協会の役員を
しておられ、資料作り等何かとお手伝いはしていま
したが、平成に入って、一時単身赴任していた任地より
名古屋支店に戻ってきたときがきっかけで、前任者よ
り役員交代を言い渡され、本格的に協会のお手伝い
をすることとなりました。

今回会社の定年延長も過ぎ、後任の山田治さんと
も3期の重複期間を重ね役員を卒業させていただくこ
ととなりました。

監事として今後ともお手伝いはさせていただきます
ですが、長い間お世話になりました。公私ともいろいろ
とありがとうございました。

北陸部会だより

(有)高島建築積算事務所 高島 義昭

2月2日(土) 部会新年会及勉強会をアパ金沢駅西彩旬にて。8名出席。

勉強会では平成23年度建築コスト管理士学科試験問題を出席者全員で検討する。

実際にやってみると大変。宮西氏いわく「目からうろこ」状態。大変有意義な時間を過ごしお酒もおいしく時の過ぎるのも忘れてしまいました。

3月～5月はアベノミクスの影響か役所物件の依頼が多く、部会の活動は休止状態が続く。北陸部会の総会も影響を受け7月7日(日)に開催予定です。

さて北陸部会副会長の有限会社クボタ積算室窪田和則氏からふるさと丸岡について一文いただきましたので北陸の魅力を紹介したいと思います。

わが故郷は、福井県坂井市丸岡町に有り、18歳まで過ごしました。この町は、現存最古の丸岡城(霞ヶ城)と一筆啓上、そして細幅織物、近年は蕎麦作りで有名です。

お城は、柴田勝豊が小高い独立した丘陵に築いた平城で、安土桃山時代に建造されたと指定され、天守閣(独立式望楼2重3階)は、国の重要文化財に指定されています。別名霞ヶ城の由来は合戦時に大蛇があらわれて霧を吹き、城を隠したという伝説があり、今でもその井戸が有ります。

「一筆啓上 火の用心お仙泣かすな 馬肥やせ」と、戦国武将本田重次が息子の初代丸岡藩主本田成重のために送ったとされる事から、平成5年～平成14年まで手紙文化の発信地として、日本一短い手紙として始まりました。全国からは沢山の普段、口には出せない心に秘めた思いの手紙が寄せられて、それまでお城の事でしか余り知られていなかった町も、全国ニュースで呼ばれる度に知名度が上がり、出身者としては、少し誇らしく感じています。平成15年からは、新たに日本一短い物語となり、心のこもった往復書簡に変わりましたが、昨年も63,745通もの応募が着いています。

今年のテーマは、「わすれない」1～40文字の片道手紙文を募集していますので、思いのこもった手紙を応募してはどうでしょうか。町では、頂いた手紙を展示する手紙博物館の計画もありますので、私も展示されるように、頑張ってお勧めしたいものです。

お城の桜が満開になる4月には春祭りもやっているの

で、この時期が最高です。丸岡城へは、丸岡ICから5分程で行けます。来ての～(福井弁)昨年、上映された「旅の贈りもの 明日へ」の撮影地でしたので、幾つかの場面で昔の丸岡町が出てきます。DVDが出たらご覧ください。

地域委員会 静岡地区だより

(株)アイピーエス 藤曲 充信

6月の13日から15日まで研修にて沖縄に行きました。天候にも恵まれ、まばゆい太陽を満喫し、同僚との会話に花を咲かせ、観光名所の美ら水族館・ナゴパインナップル・琉球村・琉球ガラス・ひめゆりの塔・平和記念公園などを見学してきました。

沖縄と言えば1945年6月23日に沖縄戦の組織的戦闘が終結したことにちなんで、6月23日を慰霊の日として定めたそうです。また、このような冷厳な歴史的事実をかんがみ、戦没者のみ霊を慰めるとともに、世界の恒久的平和を願う沖縄の心を発信する事を目的とした記念日もあるそうです。

今に生きる我々は、ただ漠然と生活をするのではなく、現在の平和に感謝し、この時代に生れた有難さを深く噛み締め、自らの意思で生きられる時代に生れた喜びに感謝したいと思います。建築を目指す学生諸君も、大いなる目標を持って下さい。

今年は積算協会も公益社団法人として元年を迎えています。支部の教育委員会活動における、学校向けの「積算授業」として、今年も静岡県では、県立浜松工業高校学校のお力添えをお借りして開催する事が決まりました。内容は例年どおりですが、日本建築積算協会発行の建築コストと積算がよくわかる学校用教材に最適な、PMCシリーズⅢ「建築積算」を教本として実施する予定です。例年は50分間授業を15回でしたが、本年度は学校側のご協力もあり18回に増えました。これにより、数量積算の実技にも力を注げるよう指導して参りたいと思います。第一回目の授業は、9月11日水曜日、その後の授業は9月18日(水)、10月2日(水)、10月16日(水)、10月23日(水)、10月30日(水)が最後の授業となり、積算士補の試験の11月13日(水)で終了となります。受講者全員が建築とは何かを理解できる様、分かり易い授業を目指して、頑張りたいと思います。

能登の里山里海

RSアーキー級建築士事務所

四辻 靖信

6月22日 富士山が世界遺産に登録のニュースが流れ日本中がお祝いムードになりましたが、石川県にも世界遺産があったことを思い出し少しですが調べてみました。

世界遺産は、世界遺産でも世界農業遺産であり。石川県能登半島に広がる「能登の里山里海」が新潟県佐渡市の「トキと共生する佐渡の里山」とともに2011年6月、日本で初めて国際連合食糧農業機関（FAO）により世界農業遺産に認定されました。

現在、石川県の七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、中能登町、穴水町、能登町、宝達志水町の4市5町が認定されています。

4市4町の記述もあるので良く調べてみると、今年の5月29日～31日に七尾市で開かれた国際連合食糧農業機関（FAO）主催の世界農業遺産国際会議で宝達志水町が加わっていることが判明しました。

「能登の里山里海」情報ポータルによると、

世界農業遺産とは、その土地の社会や環境を生かしながら何世紀にもわたり発達し、形づくられてきた農業上の土地利用、伝統的な農業、農法、景観、生物多様性に富んだ、世界的に重要な地域を後世に引継ぐことを目的に、国連食糧農業機関（FAO）が2002年に創設開始したプロジェクトです。

世界農業遺産の正確なプロジェクト名は Globally Important Agricultural Heritage Systems（GIAHS）と記し、世界重要農業資産システムとも訳されます。

創設の背景には、近代農業の行き過ぎた生産性への偏重が、世界各地で森林破壊や水質汚染等の環境問題を引き起こし、さらには地域固有の文化や景観、生物多様性などの消失を招いてきたことが挙げられます。

世界農業遺産の目的は、近代化の中で失われつつあるその土地の環境を生かした、伝統的な農業・農法、生物多様性が守られた土地利用、農村文化・農村景観などを「地域システム」として一体的に維持保全し、次世代へ継承していくことです。

国際連合教育科学文化機関（UNESCO（ユネスコ））が推進する世界遺産が、遺跡や歴史的建造物、自然など「不動産」を登録し保護することを目的としているのに対して、世界農業遺産は、地域のシステムを認定することで保全につなげていくことを目指しています。とあります。

難しいことがいろいろ書いて有りますが、要するに、「昔からある、農業・漁業や伝統文化などを守り、未来へ引き継いでいこう」という考えのようです。



それでは、「能登の里山里海」の事例の一つ輪島市にある、「白米の千枚田」についてくわしく見てみます。

千枚田は輪島市内から曾々木方面へ向かう国道249号線沿いにあり、小さな田の畦が美しい幾何学模様を描いて海岸近くにまで及んでいます。

全国の棚田の中でも、一枚当たりの面積が小さく2001年に国指定文化財名勝の指定を受けています。

田の枚数は国指定部分で1,004枚もあり、指定外も含めるともっと多くなるのだろうが、四季によって様々に表情を変える美しい景観は格別のものがあります。

能登の外浦では、300m程度の山が連なり、そのまま海に急斜面で落ちていく地形で、このような海岸沿いの急斜面を切り開き、田をつくるしかなかったようです。

17世紀から19世紀にかけて現在のよう形になったようです。

通常、棚田は海ではなく、山の中に有るものを想像しますが上記のような地形により、「白米の千枚田」の一番下の田の下は、もう海岸であり、日本海が広がっています。

狭い棚田での稲作は地形上の問題があり、機械化による合理化が図れず、昔ながらの手作業で行われており、多くの時間と労力を必要とするため、重労働になっています。

高齢化や後継者不足により、地元農家だけでは耕作を続けていくことが困難となってきており。

2007年には「白米千枚田オーナー制度」が開始しています。そのほかボランティアの支援を受けながら、景観を守っています。

近年秋には、キャンドルイベントの「灯りをつなぐ 能登半島 輪島・白米千枚田あぜの万燈（あかり）」を開催し稲刈りを済ませた田んぼの畦に30,000個

のキャンドルを並べ、幻想的な夜の千枚田を浮かび上がらせています。

また、秋から冬にかけての期間に、イルミネーションイベントの「輪島・白米千枚田あぜのきらめき」として、20,000個の愛称「ペットボトル」（ペットボトルの容器に太陽光パネルと充電電池、LEDが入り、昼の太陽エネルギーで発電・蓄電し、夜になるとLEDが自動的に点灯する自立型の発光装置）を並べて壮大なイルミネーションが見られます。

昨年のこのイベントで「LARGEST DISPLAY OF SOLAR-POWERED LEDS（太陽光発電LEDの最大ディスプレイ）」というカテゴリで、ソーラーLED20,461個の点灯が確認され新たなギネス世界記録に認定されています。

3月31日には金沢から奥能登方面へ向かう時に通る、能登有料道路が「ふるさと紀行のと里山海道」に変わって全線無料になりました。

途中にあった料金所もなくなり通りやすくなっています。

写真のお好きな方、たまには田舎の空気を吸ってみたい方等、一度訪れて見てはいかがでしょうか。

また、私のように最近インドアの方や業務が忙しくて訪れることが出来ない方は、検索サイトで「能登千枚田」で画像を検索すると沢山の画像が見られますので、画像を見て訪れた気分になってみて下さい。



平成25年度講習会予定表

講習委員会

- I. 「建築コスト管理士ガイドブック」の講習会
1. 日時 平成25年8月28日(水)、9月5日(木) 10:00~16:00
 2. 定員 20名
 3. 場所 昭和ビル 9階会議室 名古屋市中区栄四丁目3-26
 4. 受講料 16,000円(会員、積算士 14,000円)
 5. テキスト代 4,600円(会員、積算士 4,400円)
 6. 対象者 「建築コスト管理士」を目指す方
- II. 「建築積算士ガイドブック」講習会
1. 開催日時 平成25年9月20日(水) 10:00~16:00
 2. 定員 20名
 3. 場所 昭和ビル9階 会議室 名古屋市中区栄四丁目3-26
 4. 受講料 8,000円(会員 7,000円)
 5. テキスト代 4,500円(会員 4,300円)
 6. 対象者 「建築積算士」を目指す方
- III. 建築数量積算の実技講習会
1. 開催日時 平成25年12月10日(火)、14日(土) 10:00~16:00
 2. 定員 20名
 3. 場所 昭和ビル 9階会議室 名古屋市中区栄四丁目3-26
 4. 受講料 1日のみ 8,000円 2日間 16,000円
 5. 対象者 「建築積算士」を目指す方
- IV. 「鉄骨工事ガイドブック」の講習会
1. 開催日時 平成25年 月 日() 10:00~16:00
 2. 定員 40名
 3. 場所 中統奨学館ビル 名古屋市中区栄四丁目16-29
 4. 受講料 8,000円(会員 7,000円)
 5. テキスト代 3,500円(会員 3,300円)

詳しくは ホームページをご覧ください。

<http://www.bsij-tokaihokuriku.com/>

又は ホームページの検索

積算 東海北陸

検索

クリック

CPD制度とCPD単位取得について

資格制度委員会

●CPD参加者の皆様へ

当協会のCPD制度は、建築士会連合会と、お互いのCPDプログラムを認めあっています。

■建築士会の実施する講習会・研修会等への参加の際のご注意。

1. 会場でカナ氏名とコスト管理士登録番号と建築士登録番号（またはCPD番号）を記入してください。

○コスト管理士登録番号の記入方法

80M0000**** ミヨウジ ナマエ

登録番号はBSIJ-CPDシステムのユーザIDと同じです。

システムに未参加の方も同様80M0000****の12桁を記入してください。

○建築士登録番号等の記入方法

建築士登録番号（または11桁のCPD番号）
2級（木造）建築士の場合は登録都道府県名が必要です。

2. 自己申請の必要はありません。

会場で建築士登録番号（またはCPD番号）を記入しない場合は、士会CPDの単位にはなりません。

同様にコスト管理士登録番号を記入しない場合は、BSIJ-CPDの単位にはなりません。

3. 受講申込にあたって

研修会の受講申込書は各主催者によって異なりますが、正確に漏れなく記入するようにしてください。

4. CPD情報提供制度について

CPD情報提供制度についても、当協会主催のプログラムの大部分が認定プログラムとなります。

詳しくは、講習会案内等に「CPD情報提供制度認定プログラム」と記載していることをご確認ください。

●26年3月更新の方へ（建築コスト管理士）

5年間の必要単位数＝

（平成24年3月31日までの年数×50単位）

＋（平成24年4月1日以降の年数×16単位）

詳しい記入方法は、旧制度用、支部報54号（2011年2月発行）及び、制度改定内容とも、支部報57号（2012年8月発行）を参考にご覧ください

○単位は5年間で、旧制度 150単位、
新制度 32単位の182単位必要。

○研修年月日は下記の年度ごとの登録となります。

○両制度とも緩和処置の適用もあります。

旧制度 年間 50単位

2009年4月1日 — 2010年3月31日

2010年4月1日 — 2011年3月31日

2011年4月1日 — 2012年3月31日

新制度 年間 16単位

2012年4月1日 — 2013年3月31日

2013年4月1日 — 2014年最終登録日

○登録しやすい内容は下記のとおりです。

●旧制度・・・年間58単位以上登録できます。

①.実務実績の登録 20単位/年間

②.自己申請

a. 協会会誌「建築と積算」購読12単位/年

b. 他団体会誌購読 6単位/年

c. 専門図書購読 20単位/年

③現場見学会 上限なし

●新制度

①.自己申請・・・年間26単位以上登録できます。

a. 「建築と積算」認定記事 10単位/年

b. 他団体会誌 4記事迄 4単位/年

c. 専門図書購読 6冊以上 12単位/年

③現場見学会 上限なし

●年度末には必ず単位申請を！

平成
25年版

公共建築工事積算基準

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部 ◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 定価8,700円(税込)

標準単価積算基準の改定、参考歩掛りの改定並びに最新通達も収録!

平成23年
基準

公共建築工事積算基準の解説 【建築工事編】【設備工事編】

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部 ◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 定価9,700円(税込)

市場単価の適用工種の追加、歩掛り等の改正について解説した最新版!

平成
23年版

建築数量積算基準・同解説

◎制定/建築工事建築数量積算研究会 ◎編集/(一財)建築コスト管理システム研究所、(社)日本建築積算協会
◎発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 定価4,200円(税込)

改定された「JASS5」と整合性を図り、図表等の修正などを加えた最新版!

公共建築設備改修工事の積算マニュアル

◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 定価6,930円(税込)

改修工事(電気設備・機械設備)について定めた規定等について分かりやすく解説!

平成
24年版

公共建築工事内訳書標準書式 【設備工事編】・同解説

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部 ◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 定価4,830円(税込)

8年ぶりの最新内容! 公共建築工事標準仕様書やJIS規格等の整合性を見直して解説!

公共建築工事積算実務要覧(加除式)

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部 ◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 定価13,650円(税込)

公共建築工事の積算実務者の必携書!



株式
会社 大成出版社

〒156-0042 東京都世田谷区羽根木 1-7-11
TEL:03-3321-4131 FAX:03-3325-1888
ホームページ <http://www.taisei-shuppan.co.jp/>

25年度新刊書籍情報

公共土木工事（河川・道路）積算の元本

国土交通省 土木工事積算基準

平成25年度版 平成25年5月発行

● 監修 / 国土交通省 大臣官房技術調査課

国土交通省公表の土木工事標準歩掛を網羅した積算基準書。25年度版では、「トンネル工(NATM)発破工法、道路除雪工、地すべり防止工(集排水ボーリング工)」の改定と、「34工種の排出ガス基準値」が見直されました。さらに、『施工パッケージ型積算基準』の移行については、平成25年10月1日から入札される工事で、146工種が追加されます。



B5判
定価 10,920円(税込)

国土交通省土木工事積算基準を積算例で解説した書籍

土木工事積算基準マニュアル

平成25年度版 平成25年8月発行予定

平成25年度版「国土交通省土木工事積算基準」の標準歩掛に基づき、工種別に具体的な積算事例を豊富に掲載。積算業務の初心者からベテランの方まで幅広く、「実務に役立つ実用的解説書」として利用されています。国土交通省では、社会経済情勢や工事の施工実態等の変化に対し、土木工事等の積算を適合させるため、毎年「積算基準」等の改正を行っており、最新の動向を解説しています。



B5判
定価 10,710円(税込)

水門設備、道路設備等の機械設備工事の他に、点検・整備、設計費の歩掛が掲載

国土交通省 機械設備工事積算基準

平成25年度版 平成25年6月発行

国土交通省の発注する機械設備工事の請負工事費算定に必要な事項を定めたもので、機械設備工事積算関係の基準書。水門・ゲート・ポンプ・ダム・トンネル設備など掲載。

■ 改定工種等

機械設備工事 【4工種】

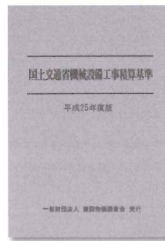
中・大形水門、小形水門、水門修繕、トンネル非常用設備

点検整備業務 【2工種】

水門設備、消雪設備

機械設備工事 【1項目】

共通仮設費(揚排水ポンプ設備修繕工事)



B5判
定価 5,670円(税込)

下水道推進工事の必須図書

『建設物価』 推進工事用機械器具等基礎価格表

平成25年度版 平成25年6月発行

「推進工事用機械器具等損料参考資料」に掲載の各種機械器具等について、建設物価調査会が調査した実勢価格表。「下水道工事積算基準」の改定に伴い、管きよ更生工法を追加掲載しました。下水道工事の積算に必須の書籍です。



A4判
定価 7,875円(税込)

「実行予算」作成の入門書として、マンガでわかりやすく解説

まんが 土木積算入門 - 実行予算編 -

新刊 平成25年5月発行

本書は、「土木積算」のうち「実行予算」作成について、まんがでわかりやすく解説した入門書です。近頃、建設業界で増え始めた土木系女子、新入社員「西園寺ルミ」と一緒に、実行予算作成の考え方・手順等について一から勉強しましょう!! 建設業界の若手社員やこれから建設業界を目指そうという学生の皆様には是非おすすめします。



AB判
定価 2,205円(税込)



内容見本

一般財団法人 建設物価調査会

電話でのお問い合わせ

0120-978-599

パソコンからのお申込み

建設物価 Book Store

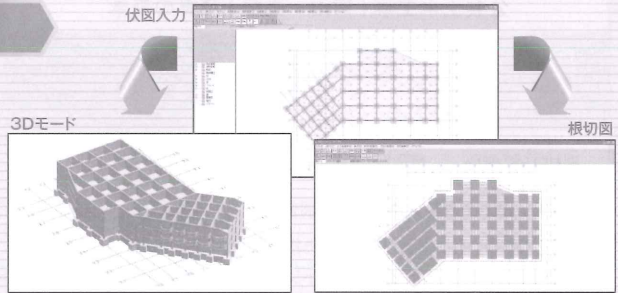
検索

建築積算・見積システム

FKS RC RC数量積算システム

拾い時間の短縮・省力化を追求しCADとのデータ連携も実現

- 伏図配置はワンクリックで簡単配置、偏心情報は自動補正の機能を搭載
- セットバック(斜め柱)や壁式構造にも対応、鉄筋の定尺集計も可能
- PCI法、ボイド、機械式継手、定着プレート、カットオフ、スリットなど様々な工法に対応
- 土工事は、総掘、壹掘、地下空間体積も自動で積算、杭工事にも対応
- 設計CADデータを積算データへ直接取込(オプション)

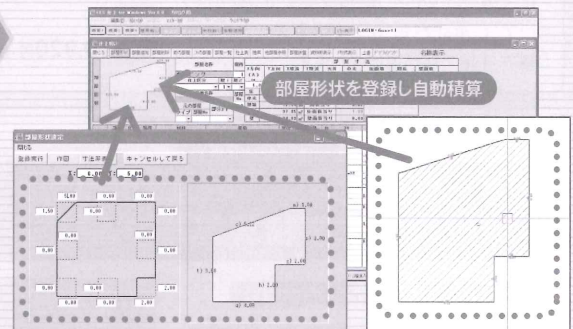


作図した伏図を3次元へ展開し、立体図を見ながら各部材の編集が可能です。基礎伏図から根切図を自動作成し、土工事数量も算出します。

FKS FN 仕上数量積算システム

部屋形状自動作図と図面データ取込機能で積算時間を大幅削減

- 部屋形状作図と図面ショット機能により複雑な形状の部屋でも自動積算を実現
- 建具積算も標準で装備し、壁、巾木から面積、長さを自動減算
- 部位別、科目別の集計画面から直接拾いデータの編集が可能
- 設計変更前後の数量差分印刷機能で変更資料作成をサポート
- BIMツール 連携用 中間ファイルの入力機能搭載 (公益社団法人 日本建築積算協会 制定 BS-Transfer)
- CI-NET 建築積算メッセージファイルの入出力機能搭載 (一般財団法人 建設業振興基金 制定) 建築積算の標準交換データ形式に対応

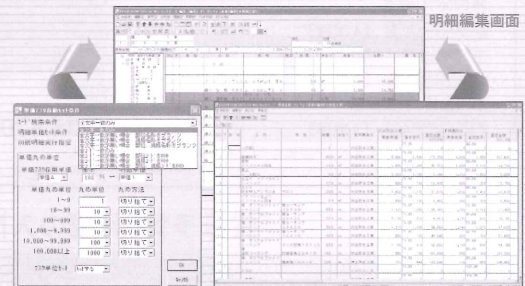


部屋形状作図画面 9等分されたマスの組み合わせに形状や寸法を入力するだけで部屋形状が自動作成されます。 図面ショット画面(図面データより) マウスでクリックするだけで部屋形状が自由に作図できます。

KYOEI COMPASS 見積書作成システム

優れた操作性と豊富な機能で見積業務が大幅に効率アップ

- 数量、単価、総額固定などの各種シミュレーション機能によりコスト調整を容易に実現
- 名称・規格情報が同じ明細を文字検索し、単価の統一が可能
- 付箋機能により、目印を付けた行をまとめて検索・参照・編集
- ExcelからCOMPASSへ直接コピー・貼付けが可能
- Excelとの入出力機能やRIBCから出力したデータの取込など豊富なデータ互換
- 見積書式の行数や表現、見積書の書式位置はユーザーごとに設定が可能



単価自動セット 単価マスターや過去物件より単価を自動セットします。 業者見積比較画面 最大5社まで見積比較が可能です。

協栄産業は、蓄積された経験と技術をもとに、貴社に最適な建築コストアプリケーションを提供いたします。

鉄骨数量積算システム **FKS ST**

積算実績比較システム **FKS SJ**

実行予算書作成システム **COMPASS 実行予算**

デジタル入カシステム **K/FIT**

積算 といえば 協栄産業 におまかせください!
<http://www.kyoei.co.jp/fks>

インターネットで

積算 FKS 検索
 「積算 FKS」で検索してください

クリック!



エレクトロニクス分野を通して
 夢とゆとりのある社会の実現に貢献します。

協栄産業株式会社 ソリューション第二事業部 営業部

Email fks@kyoei.co.jp URL <http://www.kyoei.co.jp/fks>

【東京】〒143-6565 東京都大田区平和島6-1-1 TRCアネックスビル
 TEL 03-3767-2312 FAX 03-3767-2318

【大阪】〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島3-14-24 阪神ダイヤビルディング
 TEL 06-6451-9781 FAX 06-6451-9810

協栄産業株式会社 会社概要

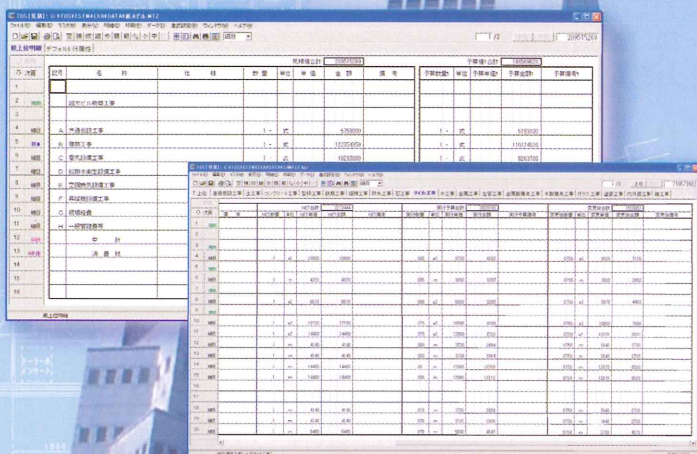
- 【会社名】 協栄産業株式会社 (Kyoei Sangyo Co.,Ltd.)
- 【本社所在地】 〒150-8585 東京都渋谷区松濤2-20-4
- 【創立年月日】 1947(昭和22)年10月6日
- 【資本金】 31億6,181万円(2012年3月31日現在)
- 【総従業員数】 1,234名(協栄産業グループ合計)
- 【株式市場】 東京証券取引所 市場第1部「商業」
- 【関連団体】 公益社団法人 日本建築積算協会 賛助会員
 一般社団法人 日本建築積算事務所協会 賛助会員
 社団法人 日本建築士事務所協会 連合会 賛助会員
 一般財団法人 建設業振興基金 (CI-NET会員)
 一般社団法人 IAI日本会員

積算業務の効率化に貢献する

TDS Application Series

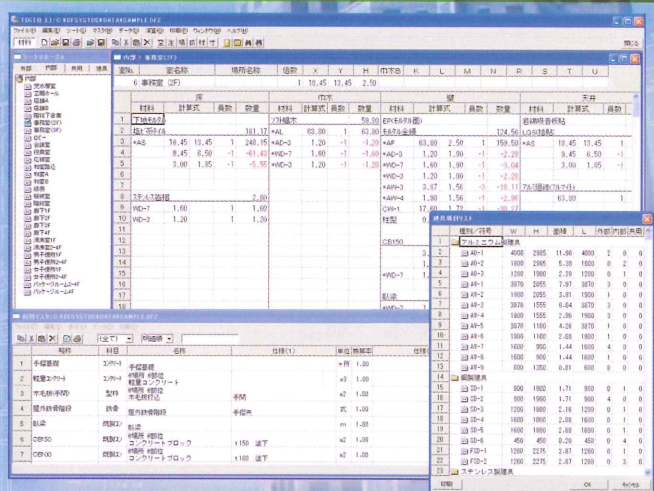
出荷本数8000本の実績!明細書作成の超決定版!

Exa TDS [見積]



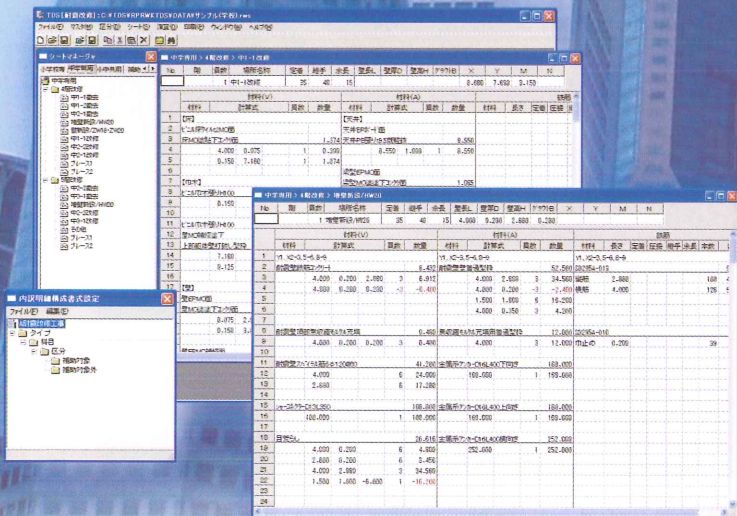
超簡単仕上拾い

TDS [仕上]



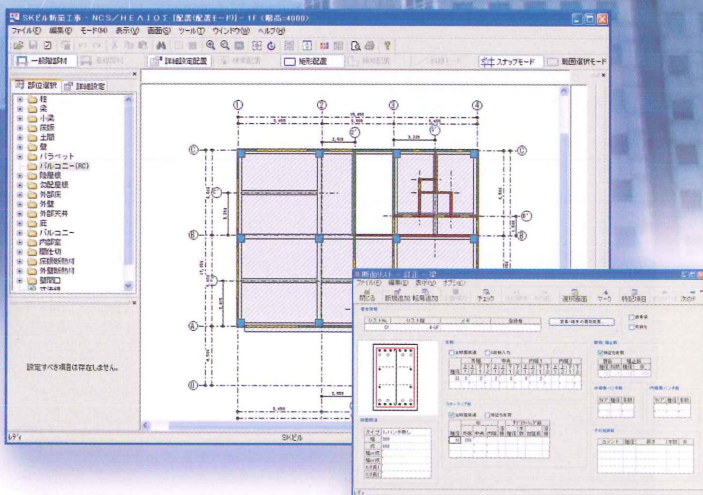
業界初!改修専用の積算システム!

TDS [改修]



どんな建物にも対応

NCS / HEALIOS



※NCS/HEALIOSは株式会社積日積の商品です。



TOMOデータサービス株式会社

<http://www.tomodata.co.jp> E-mail info@tomodata.co.jp

大阪本社/ 〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目5-23 渋谷ビル TEL(06) 6351-8452 FAX(06) 6351-8925
 東京事務所/ 〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7 龍田ビル TEL(03) 5816-7080 FAX(03) 5816-7081

編 集 後 記

支部報No.59号の表紙を飾る建物は、平成21年1月に着工し、本年5月に部分公開となった名古屋城本丸御殿玄関・表書院です。この写真からでは奥行きをお伝えできないのが非常に残念です。ちなみに本丸御殿全体の復元工事完了は、平成30年の予定とのことです。

さて、支部報の内容につきましては、支部の定期総会報告、各委員会報告ほか、8名の新役員紹介、女性スタッフ紹介、工業高校生2名の就業・学習体験、佐野監事の会長表彰関係記事、地区部会だより、能登の世界農業遺産レポート等々盛りだくさんです。

いずれの記事も充実した内容のものばかりで、ご多忙中にも関わらず寄稿していただいた方々には心より感謝申し上げます。

それでは皆様、本年度も支部報のご愛読宜しく願いいたします。

広報委員	堀田 淳二	長山 充裕
	加藤 一也	桑名 利男
	後藤 学	高嶋 義昭
	松本 利治	

支部報 『東海北陸』 No.59

発行 公益社団法人 日本建築積算協会
東 海 北 陸 支 部

名古屋市中区栄町四丁目3-26
昭和ビル 2階

☎ (052) 264-0661(代)

FAX (052) 264-0662

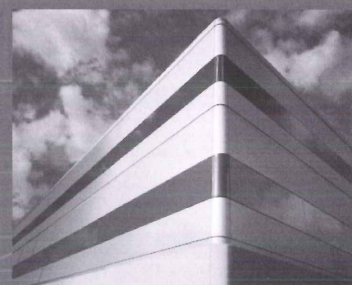
URL <http://www.bsij-tokaihokuriku.com/>

発行日 2013年8月 吉日



58年の信頼と実績

プロジェクトの企画段階から工事完了まで。
建築コストに関することなら
何でも二葉積算におまかせ下さい。



株式会社 二葉積算 名古屋支社

名古屋支社長 中川 英人

〒460-0003

愛知県名古屋市中区錦2丁目17-30河越ビル6階

TEL 052-231-8336

E-mail nagoya@futaba-sekisan.co.jp

二葉積算があなたの経験と知識を求めています！

建築プロジェクト・コストマネジメントの

スペシャリストとしての道をさらに極めてみませんか？

勤務地：名古屋、大阪(希望可)

経験者優遇、若干名

社員募集